

参加機関・市職員アンケート集計結果

令和4年度 常陸太田市原子力災害広域避難訓練

アンケート概要

本アンケートは令和4年度常陸太田市原子力災害広域避難訓練に参加した参加機関(茨城県、陸上自衛隊、日本原子力発電(株))及び市職員を対象に実施した。

アンケート回収率は下記の通り。

1 防災関係機関

茨城県、陸上自衛隊勝田駐屯地、日本原子力発電(株)

2 市職員

28/59人(47%) 2/24(金)現在

アンケート集計結果

1 全般

1-1 本訓練は「原子力災害時における対応手順の検証及び関係機関との連携強化を図り、原子力防災体制の確立及び市原子力災害広域避難計画の実効性を確保する」ことを目的に実施されました。本訓練目的の達成度は、どの程度と感じましたか。



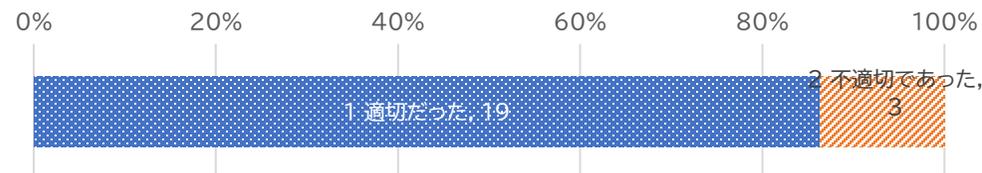
【自由記述】

- ・実際の災害時は、訓練以上の避難者が押し寄せることが想定されることから、訓練時のスタッフ数では足りないと感じたことや、多数の避難用バスを手配する必要があると思われることから、道路上や避難所内で混乱時の対応が必要と思われるから。

1-2 訓練時期・時間は適切でしたか。(1月28日(土)7:50~12:00)



1-3 訓練の準備期間、打合せ・調整方法は適切でしたか。



【自由記述】

- ・各班の役割分担が明確に分かり合っていなかった感があった。
- ・全体的な流れが浸透していなかったように思われる。
- ・全体の打合せをもう少し時間をかけて行えば良かったと思う。
- ・マニュアルの作成が必要だと思われる。様式名称が打合せ時と異なっていたため取扱いを誤ってしまった。また、当日にリーダーとなったが、説明が無かったことでも様々な判断を迫られた。
- ・訓練の内容を把握したのが予行練習の日であったため、もう少し早いタイミングで内容の周知等（資料の提供）があるとよいと思う。

1-4 訓練提案・気づき事項

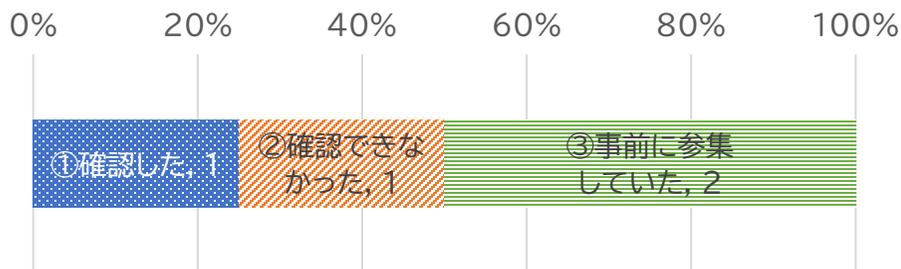
【自由記述】

- ・市対策本部で問合せを受ける担当者を統一したほうがいいのではないか？
- ・説明時の様式名称と実際の様式名称が異なっていたため対応を誤ってしまった。（一時集合場所担当）
- ・訓練を経験して、非常事態においては、逐一状況を報告することの重要性が理解できた。（一時集合場所担当）
- ・市民の参加者で女性は1名であった。もっと女性の参加が必要ではないかと感じた。
- ・次回は、駐車場が斎場（他施設）と兼用の避難所ではない方がいいと思います。

アンケート集計結果

2 職員参集訓練

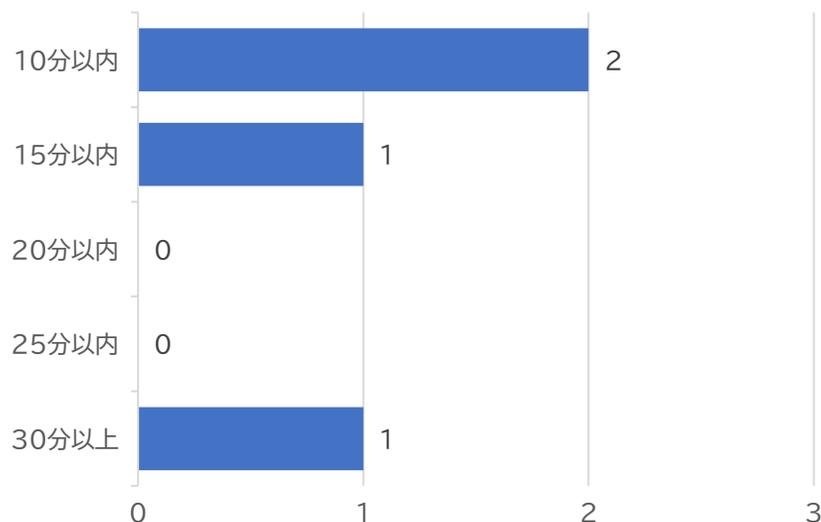
2-1 防災行政無線による参集指示は確認できましたか



【自由記述】

- ・職員初動マニュアルが未整備であり、各班の所掌や職員配置計画の明確化が必要
- ・現行のマニュアル（風水害・地震）を準用し、各班の所掌や職員配置計画を精査してはどうか。
- ・原子力災害で追加が必要と思われる所掌事務としては、広域避難対応班（バス手配など）、避難退域時検査場所対応班、避難先設営班が必要と思われる。

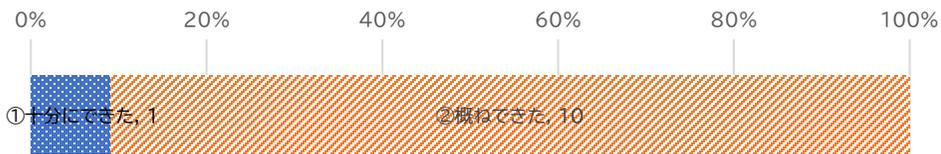
2-2 本部への参集までどの程度の時間を要しましたか



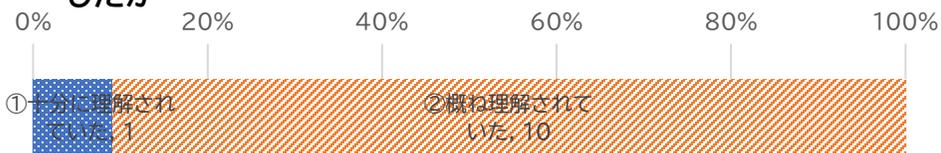
アンケート集計結果

3 市対策本部設置・運営訓練

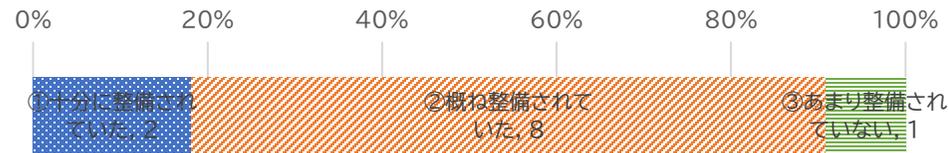
3-1 (関係機関との連携)情報共有は適切になされていましたか



3-2 (関係機関との連携)業務手順・業務分担は理解されていましたか



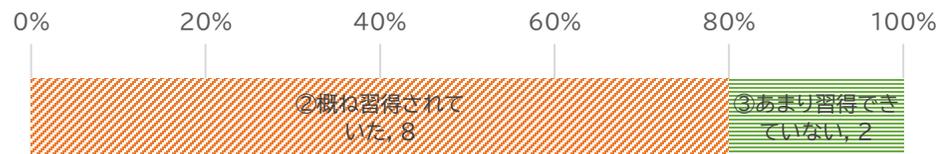
3-3 (関係機関との連携)定型様式等は整備されていましたか



3-4 (自組織)業務に係る基礎知識は十分に習得していましたか



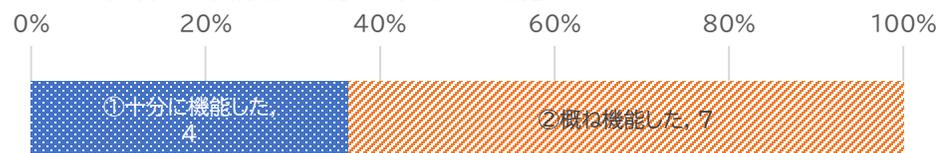
3-5 (自組織)機器等操作技術は十分に習得していましたか



3-6 (自組織)指揮命令系統は十分に機能していましたか



3-7 (自組織)情報共有は十分に機能していましたか



3-8 (自組織)業務手順・業務分担は整理・理解されていましたか



アンケート集計結果

3 市対策本部設置・運営訓練

【自由記述】

- ・連絡記入用紙等の様式が統一されていると、もっと見やすく伝達が早くなると思う。
- ・連絡を受けた内容を、「支援G受付メモ」に記載し、情報共有を図った。
- ・電話、IP無線、指示・情報伝達（避難支援者の手配、福祉車両等の手配）などの役割分担を決めて対応した。
- ・無線呼出し先の確認を含む無線交信要領等を訓練本番前に使用者全員で研修をしなければ実災害での現場と本部の正確な情報共有は図れないと感じた。
- ・シナリオが決まっていたため、対応（情報G・支援Gへの情報連携）が可能であったが、本番では様々な問い合わせがあることから、それを適切に情報共有ができるか不安である。
- ・事前に訓練内容を把握しているため、うまく行ったのだと思う。
- ・実際の切迫した緊張感の中で同様の対応ができるには至っていないと思う。
- ・今回は避難訓練が主であったためか、時間を大きくスキップしてしまい、その間の特に初動において各部等がどのような対応をとるのかの訓練ができていなかった。初動において、どのような対応が必要なのかを確認する必要がある。
【改善意見】各部において初動マニュアルに基づく業務内容の一覧を確認、本部運営に特化した訓練の実施
- ・実際に各部での動きについても実施する機会があると、有事の際にスムーズに動けると感じた。
【改善意見】本部会議と本部会議との間（今回はスキップした部分）に実際に時間を取って、それぞれの部署に戻って行動してみる。（例：教育委員会であれば、学校からの情報収集や指示のほか、本部との情報共有など）
- ・原子力関係者が、各市町村に赴き状況説明することとなっているが、複数市町村に同時に配置、対応できるのか疑問。
【改善意見】web等の活用も想定した対応を検討すべきではと思われる。
- ・放射線モニタリング（県HP）や道路交通情報（ライブカメラ）など、リアルタイム情報も活用してもよかったと思われる。
【改善意見】リアルタイムで把握できるコンテンツを事前に把握の上、活用できるように備えておく。
- ・道路のライブカメラについて、福島県は整備されているが、茨城県には整備されていない状況。降雪状況や渋滞状況（避難車集中による渋滞を想定）など、円滑な避難が可能か、できているのか、状況把握のために必要と思われる。※福島県のライブカメラについて、市のPCで見ることができない状況でしたが、企画課で閲覧できるように対応していただきました。
【改善意見】原子力災害時の円滑な避難を行うため、各市町村の避難ルートに、道路状況が把握できるライブカメラの設置を、県（予算確保のためには原子力災害担当課がよいと思います）に要望してはどうか。
- ・対策本部会議で使用しているワイヤレスマイクの調子が悪い。

【訓練提案】

- ・今回以上に緊迫感をもった継続的な訓練を実施していくことが重要だと思う。
- ・各部署（現場）活動訓練の内容を対策本部全員が把握できるよう、時系列を詳細に作成することで、訓練全体を把握する。
- ・支援Gの実践練習…避難行動要支援者名簿及び個別避難計画を活用した訓練（安否確認・避難支援等）
- ・原子力災害と自然災害（地震・台風）が同時におきた場合など、あらゆる想定訓練も必要ではないでしょうか。
- ・（陸上自衛隊）現在の隊区担任上、水際障害中隊長が訓練に参加しているが、次年度以降の訓練において他中隊の参加も検討（経験、知識の共有）

アンケート集計結果

4 情報伝達訓練

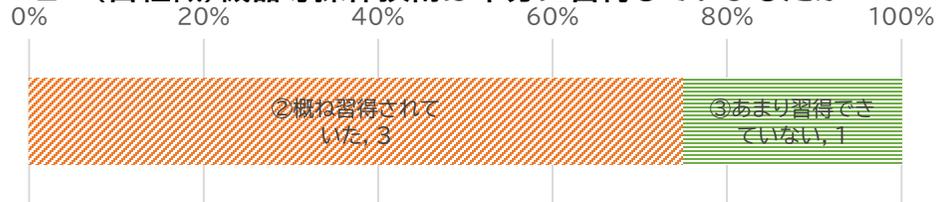
4-1 (自組織)業務に係る基礎知識は十分に習得していましたか



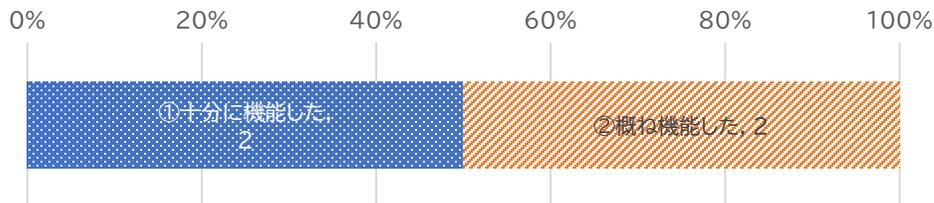
4-5 (自組織)業務手順・業務分担は整理・理解されていましたか



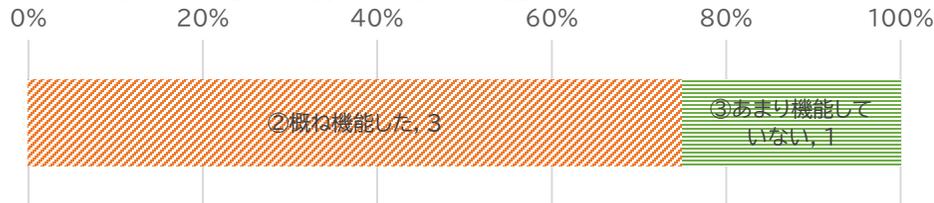
4-2 (自組織)機器等操作技術は十分に習得していましたか



4-3 (自組織)指揮命令系統は十分に機能していましたか



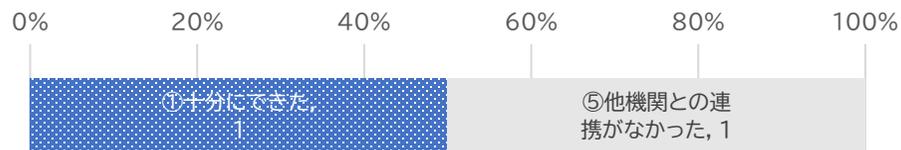
4-4 (自組織)情報共有は十分に機能していましたか



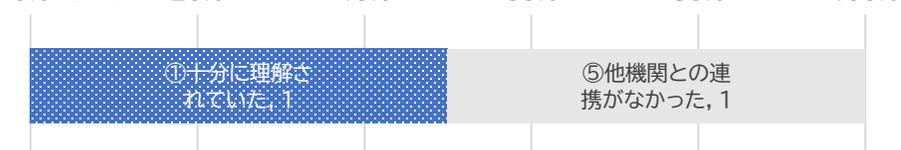
アンケート集計結果

5 一時集合場所設置・運営訓練

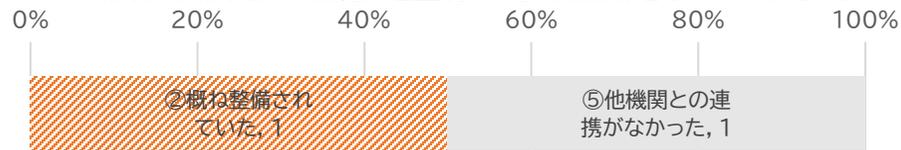
5-1 (関係機関との連携)情報共有は適切になされていましたか



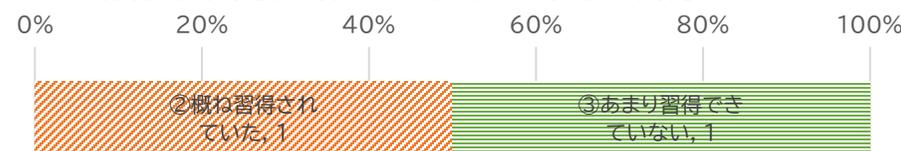
5-2 (関係機関との連携)業務手順・業務分担は理解されていましたか



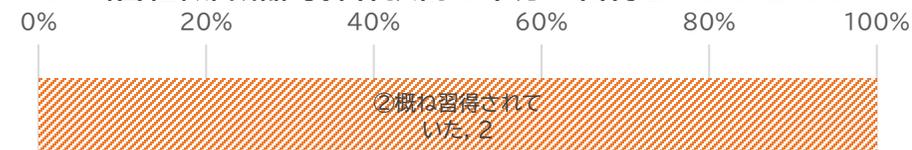
5-3 (関係機関との連携)定型様式等は整備されていましたか



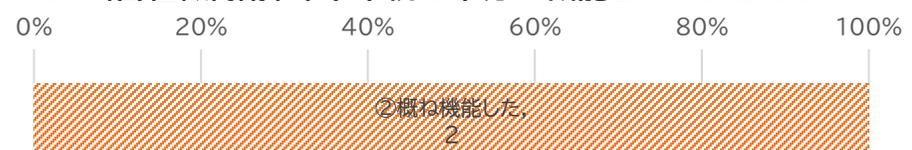
5-4 (自組織)業務に係る基礎知識は十分に習得していましたか



5-5 (自組織)機器等操作技術は十分に習得していましたか



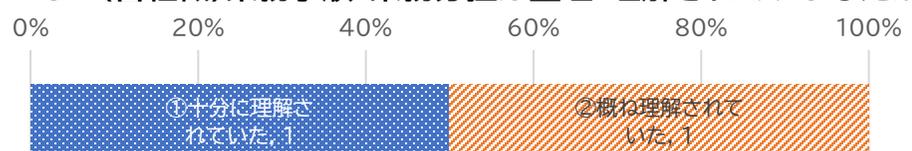
5-6 (自組織)指揮命令系統は十分に機能していましたか



5-7 (自組織)情報共有は十分に機能していましたか



5-8 (自組織)業務手順・業務分担は整理・理解されていましたか



【自由記述】・職員初動マニュアルが未整備。初動対応として市所管施設の屋内退避指示時の対応の明確化も必要と思われる。(特に、学校、観光施設など、そのまま待機させるのか、自宅に返すのか、その方法はどうか)

アンケート集計結果

6 逃げ遅れ者の避難支援訓練

6-1 (関係機関との連携)情報共有は適切になされていましたか



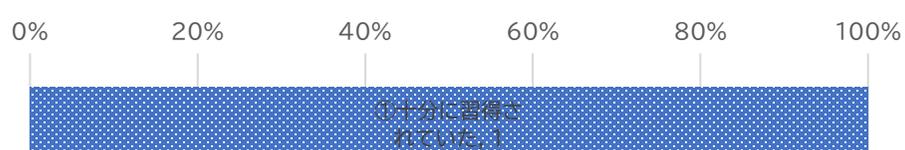
6-2 (関係機関との連携)業務手順・業務分担は理解されていましたか



6-3 (関係機関との連携)定型様式等は整備されていましたか



6-4 (自組織)業務に係る基礎知識は十分に習得していましたか



6-5 (自組織)機器等操作技術は十分に習得していましたか



6-6 (自組織)指揮命令系統は十分に機能していましたか



6-7 (自組織)情報共有は十分に機能していましたか



6-8 (自組織)業務手順・業務分担は整理・理解されていましたか



【訓練提案】・訓練想定や状況によりWAPC（陸自装輪装甲車）を使用した住民避難訓練の実施（輸送間の隊員・避難者防護の観点から）

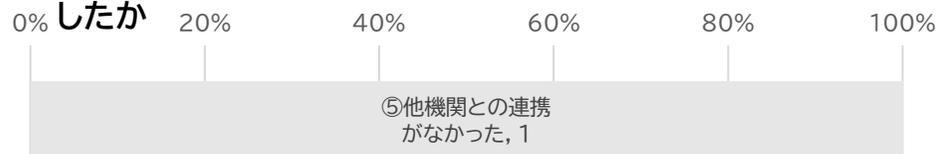
アンケート集計結果

7 避難退域時検査場所設置・運営訓練

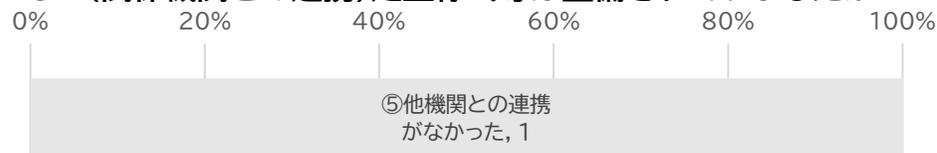
7-1 (関係機関との連携)情報共有は適切になされていましたか



7-2 (関係機関との連携)業務手順・業務分担は理解されていま
したか



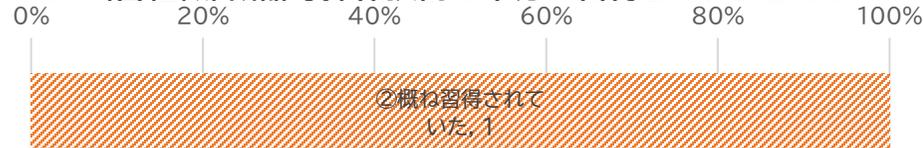
7-3 (関係機関との連携)定型様式等は整備されていましたか



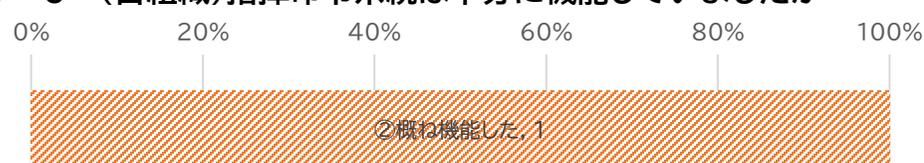
7-4 (自組織)業務に係る基礎知識は十分に習得していましたか



7-5 (自組織)機器等操作技術は十分に習得していましたか



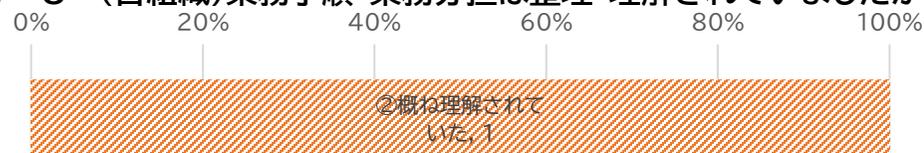
7-6 (自組織)指揮命令系統は十分に機能していましたか



7-7 (自組織)情報共有は十分に機能していましたか



7-8 (自組織)業務手順・業務分担は整理・理解されていましたか



【自由意見】

- ・市民や関係者などが、検査会場の責任者が誰であるか一目でわかるような服装などの配慮。
- ・スクリーニング検査は茨城県が主体である旨、県と市において認識を改めて確認する。
- ・避難退域時検査訓練会場は屋外で厳しい寒さであったため、放射線を遮るのと同時に防寒対策が必要と感じた。

【改善意見】 テントに袖を付けるとかの風対策や、暖房器具等の設置も効果があると思う。

アンケート集計結果

8 避難所設置・運営訓練

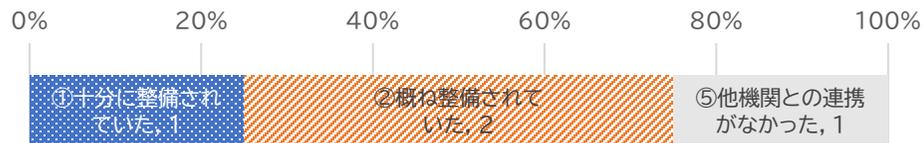
8-1 (関係機関との連携)情報共有は適切になされていましたか



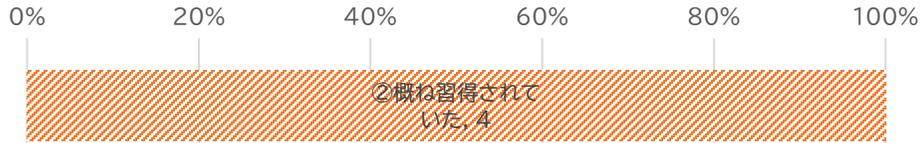
8-2 (関係機関との連携)業務手順・業務分担は理解されていましたか



8-3 (関係機関との連携)定型様式等は整備されていましたか



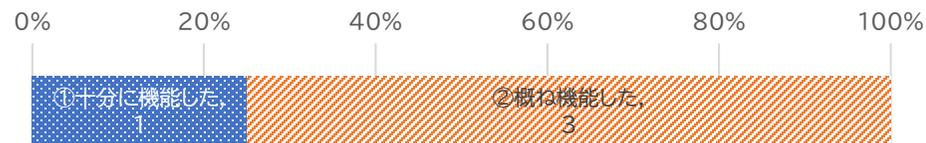
8-4 (自組織)業務に係る基礎知識は十分に習得していましたか



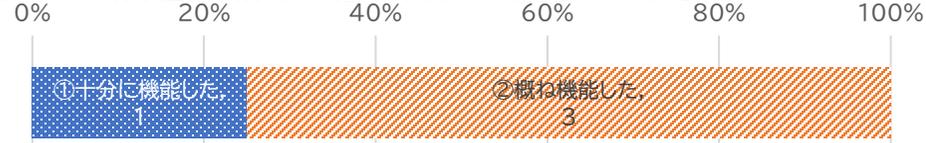
8-5 (自組織)機器等操作技術は十分に習得していましたか



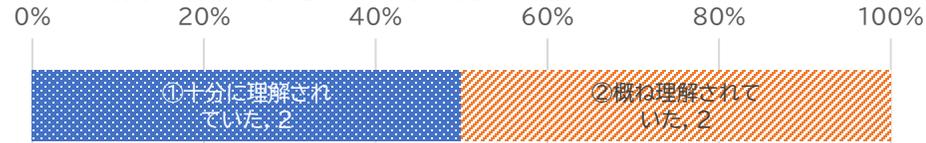
8-6 (自組織)指揮命令系統は十分に機能していましたか



8-7 (自組織)情報共有は十分に機能していましたか



8-8 (自組織)業務手順・業務分担は整理・理解されていましたか



【自由意見】・株式会社 総合防災ソリューションの方を介しての情報共有がほとんどであったので、実際の避難では、自組織内で情報共有が十分に機能するかが不安である。

アンケート集計結果

9 その他

【自由記述】

(1) 広域避難における交通状況の把握・提供方法の改善

- ・ 今回の訓練のように、避難経路で交通渋滞が生じた場合に、自家用車で避難される方に不安や混乱を生じさせないように対策を考える必要があるのではないか。
- ・ 訓練の際、積雪による交通事故に伴い、避難道路が渋滞して移動に時間を要する状況となったため、市民などへの交通情報も丁寧に発信する必要があると感じた。

【改善意見】

- ・ 渋滞解消までの時間が長引くようであれば、何らかの（ラジオの活用など）広報手段を考えてみたらどうか。迂回路や交通情報もメール等でリアルタイムに発信すると良い。
- ・ 本部員等が参集の際に道路状況を把握し、事務局へ報告するとともに訓練内容に追加をする。
- ・ 原子力災害時には、県も対策本部を設置することとなると思うので、避難ルート of 交通情報の把握については、一元的に県で情報収集を図り、各市町村へ情報提供するなどの仕組みを構築しておくことも必要と思われる。
- ・ 広域避難時の連絡先などを整理しておく。県内の避難ルート所管事務所（常陸大宮土木、高萩工事、常陸太田工事）及び県庁道路維持課に対しては、原子力災害時の避難ルートについて周知する。※県の防災計画には記載があるが、詳細のルートなどについては、個別に説明しておくことが必要と思われる。
- ・ 広域避難計画でポンチ絵で示されている避難ルートを、地図上で一枚に明示されているものがあるとよい。道路管理者への説明だけでなく、災害対策本部での避難ルートの把握もしやすいと思う。

(2) 移動手段の確保

- ・ 自家用車で避難できない住民のため、バスを調達が必要と思われる。バス事業者と協定などを結んでおくことが必要と思われる。ただし、原子力災害が発生しても、常陸太田市にバスを派遣できる事業者をあらかじめ選定しておくことも必要と思われる。
- ・ バスでの広域避難とする場合、必要とするバスの台数にもよると思うが、避難者の駐車台数も想定し、バスが待機できるような、広い駐車場の確保が必要と思われます。

(3) その他、訓練へのご意見

- ・ 電源喪失時の対応も想定しておく必要があると思います。
- ・ 市民を円滑に避難させるためには、原発事故発生地近隣の主要道路の交通規制（通行止め）がかかることも想定しておく（県や原子力関係者に想定させる）ことが必要だと思います。
- ・ 住民の行動状況について、もう少し想定状況や市の対応を入れ込むべき
- ・ 現地（会津美里町）とTV電話等で連携できると良かった。（現地の状況等確認も含め）

アンケート集計結果

9 その他

【自由記述】

(4) その他、平素の取り組みへのご意見

- ・広域避難指示が発出された場合の一時移転先となる市町村はどこなのか？市内各地区の住民への周知徹底が必要と思います。
- ・広域避難において自家用車による移動が大半を占めるが、冬用タイヤを装着している車がどの程度あるのか等、実際の避難時を想定してアンケート調査等を行うなど、対応が必要かもしれません。
- ・県が作ったバスの配車システムは本当に使えるのだろうか。
- ・単独の市町村での訓練でなく、市町村が連携した訓練が必要である。（県が主体となった訓練を要望）
- ・解体工事等の着手が予定されている山吹運動公園については、（地震時の避難所にもなっているのであれば）、避難所として使用できなくなるとおもいますので、各種手続き及び住民への周知が必要と思います。